

一関市、平泉町に米価安定対策に関する要請

J Aは平成25年産米の持ち越し在庫の発生、米の消費減退等による26年産米の米価下落が懸念される中、国や岩手県に対して1. 米価安定に向けた緊急対策として米の需給と価格の安定対策の構築と米価下落緊急支援対策、2. 米価変動に対応した経営安定対策の構築について協力に働き掛けるよう、地元市・町に要請書を提出しました。

9月26日には、一関市の勝部修市長のもとを、J Aの鈴木昭男組合長、同佐藤紘一常務、同女性部一関中央支部の阿部節子支部長と職員合わせて7人が訪れ、要請書を提出しました。鈴木組合長は「このままだと稲作農家は生産費をまかなえず、地域農業にとって危機的な状況となる」と話すと勝部市長は「昔は豊作を喜んだが、コメの過剰が更に過剰となると大変。概算金にJ A独自の加算をしたことに敬意を表する。コメ対策について市としても国に対して強く働きかけていく」と語りました。



要請書を手渡す鈴木組合長（右）